

参加
無料

横浜市地域における子どもの居場所づくり推進事業
子どもの居場所づくりセミナー

「子どもの居場所活動の今とこれから」

日時:2022年2月26日(土) 13:30~16:30

場所:オンライン参加または

パルシステム神奈川新横浜本部

(JR・市営地下鉄新横浜駅)

横浜市港北区新横浜 3-18-16 新横浜交通ビル 3階

定員:オンライン参加 100名 会場参加 10名

*新型コロナウイルスの感染状況等により、会場参加を見合わせる場合がございます。
その際はオンライン参加をご案内致します。ご了承ください。

オンライン
可能



子ども食堂や学習支援などの子どもの居場所に関する活動は全国に広がり、横浜市でも多くの地域の方々が支援に携わっています。昨今では、コロナウイルス感染症の影響を受け、多様化する子ども達への支援も変化を余儀なくされてきました。また、こんな状況下だからこそ、困っている子どもの役に立ちたいと行動を起こされる方々も多くいらっしゃいます。

本セミナーでは、「子どもたちにとって居場所とは何か」「今の状況の中子ども達の環境がどのように変化しているのか」といった課題に向き合いながら、こどもの居場所づくりに取り組む実践者のお話や活動の様子、コロナ禍での運営方法などを紹介します。現在居場所づくりに取り組んでいらっしゃる皆さまの課題の解決、これからの居場所づくりのヒントとなるようなプログラムを実施します。オンライン、来場での参加が可能です。みなさまのご参加をお待ちしています。

【プログラム】

▶ 基調講演 三輪律江氏 (横浜市立大学教授)

▶ 事例発表: 七田直樹氏 (駒岡丘の上こども食堂)

和田信一氏 (よこすかなかなかや)

加々美マリ子氏 (金沢子ども食堂すくすく)

コーディネーター: 米田佐知子氏 (子どもの未来サポートオフィス)



【申込方法】 下記 URL、または、メール、FAX、お電話にてお申し込みください。

【申込み先】 ●URL : <https://forms.gle/Qq8ZjoU5odXPVwxy9>

●メール : sl-kanagawa@pal.or.jp

●電話 : 045-470-5564 ●FAX : 045-470-4178

【申込期日】 2022年2月19日(土)

【問合せ】 特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-18-16 新横浜交通ビル 3階

【ホームページ】 <https://www.sl-kanagawa.org>



《講演者紹介》

三輪律江 MIWA Norie プロフィール

・横浜市立大学大学院都市社会文化研究科・教授。博士（工学）



(株)坂倉建築研究所、横浜国大を経て2011年4月より現職。専門は建築・都市計画、参画型まちづくり、こどものための都市環境、環境心理学。「子ども」と「まち」との関係に着目した実践的調査研究を数多く手掛ける。代表編著に『まち保育のススメ（萌文社、2017.5）』『孤立する都市、つながる街（日本経済新聞出版社 2019.10）』。第13回（2017年度）こども環境学会賞（論文・著作賞）受賞。

《登壇者紹介》

七田直樹 SHICHIDA Naoki 【駒岡丘の上こども食堂】



2016年4月7日、横浜市鶴見区駒岡地区センターに開店したこども食堂です。毎月、第1、3木曜日に開店しています。温かい、美味しいご飯をみんなで、楽しく食べましょう。お母さんやお父さんがお仕事で遅くなるのでお弁当を買って食べていたり、夜はいつもひとりで食べている子ども達、なかなか食事に手が回らない保護者の方、仕事と家事を忘れてほっと一息つきませんか。手作りの温かい食事を楽しんでいただきたいという思いで関係者一同活動しています。

和田信一 WADA Shinichi 【よこすかなかなかや】



2017年「こどもの今の心と命を守る」を理念に横須賀市池上にてこども食堂を始めました。おなかいっぱい、みんななかよし、よこすかのまんなか、3つのなかをとって「よこすかなかなかや」と命名しました。

そして、安心で安全にも・・・こどもの安全をまもるために・・・子ども食堂保険に加入しています。こども食堂を安心して運営するために・・・なかなかやでは飲食店の営業許可を取得し、基準をクリアした厨房設備で調理した食事を提供しています。

加々美マリ子 KAGAMI Mariko 【金沢子ども食堂すくすく】



＜金沢子ども食堂すくすく 設立の主旨＞

地域には、さまざまな事情で困難を抱えた子供たちがいます。すべての子どもたちが平等に生きられるように、子供たちを地域で見守り育てることをめざしています。

「すくすく」の活動内容

- ①乳児から高齢者までの人を対象に健全な生活を守るための食事を提供する子ども食堂
- ②ひとり親家族が自立した生活を送ることが出来るように希望の相談に乗るホットサロン
- ③ホットと出来る居場所として交流、体験、情報交換が出来るコミュニティーを築く

《コーディネーター紹介》

米田佐知子 YONEDA Sachiko プロフィール

- ・子どもの未来サポートオフィス代表
- ・関東学院大学非常勤講師（NGO論）
- ・東京家政大学非常勤講師（地域子育て支援マネジメント）



大阪出身。1996年、子育て当事者によるまちづくりNPO子育てまち育て塾を立ち上げ、2001年に横浜市域、神奈川領域の子育て支援ネットワークをコーディネート。川崎ボランティアセンター非常勤職員、かながわ県民活動サポートセンターアドバイザー、まちづくり情報センターかながわスタッフなど、NPOの中間支援活動に関わり2001年以降、寄付財源でNPOへ助成を行う神奈川子ども未来ファンドの設立運営に参画、事務局長として10年間、ファンドレイジング・助成プログラムの実務を行う。2013年に「子どもの未来サポートオフィス」を立ち上げ、子ども・子育て支援の社会資源をつなぎ、CSRやNPO等の支援を行う。財団・企業・行政の各種助成プログラム等の選考委員、神奈川県総合計画審議会計画推進評価部会委員、かながわ協働推進協議会副座長、埼玉県こどもの居場所づくりアドバイザー（R1）、横浜市子どもの居場所づくり支援アドバイザー（R1）など。NPOの組織運営、資金調達、コミュニティカフェ、こども食堂等に関する講座講師を多数務める。日本ファンドレイジング協会准認定ファンドレイザー。かながわ福祉サービス第三者評価調査者